



中央大学のみなさん

言いたいこと
伝わっているかな？

はじめてのレポート
これでいいのかなあ…？

報告資料
うまくできているかな？

卒論
どうしよう…。

**ライティング・ラボを
ためしてみませんか?!**

おためしフェア開催期間 フェア期間中、中央大学の学生なら、誰でも利用できます。
10月1日(月)~12月21日(金)

開催時間：(月)6(金)の次の表の時間

第1セッション	11:00-12:20
第2セッション	13:20-14:40
第3セッション	14:40-16:00
第4セッション	16:00-17:20

相談できる文章：
・レポート、卒業論文、修士論文、博士論文、投稿論文、研究計画書、レジュメなどの日本語文章。
・まだ文章を書いていない段階でも相談できます。

利用方法：
・セッション時間開始の5分前に来室してください。
・見てもらいたい文章を2部持参してください。

ライティングラボ
おためしフェア Writing Lab.

**中大にもあった
「お試ししかっ!!」**

レポートを上手に書ける相談処

「ライティング・ラボ」 おためしフェア開催中

ある日の中大・多摩キャンパスにて。男子学生2人が話していた。

さむら 先輩、授業の課題でレポート書かなくちゃいけないんですけど。困っているんです。頭の中がまとまっていなくて。

あべ いいところを紹介するよ。

さむら どこですか。

あべ 多摩キャンパス2号館5階2555号室。ライティング・ラボ。ここで相談に乗ってもらえる。

さむら 先輩、おれ金持っていないよ。

あべ 心配ないって。無料だからお前にも行ける。

さむら でもきつと手続きが面倒なんですよ。

あべ セッションという受付時間帯があるから、その開始5分前に部屋に行けばいい。予約はいらない。セッションは1日6回ある。午前11時40分に始まって、1日の最終受付は午後4時40分。1回40分間、相談に乗ってもらえる。(別表参考)

さむら 恥ずかしいよ。おれの文章、言いたいことがちゃんと伝わっているか。不安です。この前の試合でもサイ

ンを見落として、先輩に頭をポカリとやられたばかり。

あべ 次はちゃんと出来たじゃないか。頭の中がまとまっていないから相談しに行くんだ。

さむら レポートに書く材料はあるんです。それをどう構成していいかが分からない。

あべ それをそのまま話せ。チューターといって、アカデミック・ライティングのトレーニングを積んだ大学院生が、お前の書きたいことを確認して、文章の内容を整理してくれる。

さむら 先輩、それいいスね。

あべ どんな書き方がいいのか、お前と一緒に検討してくれるんだ。

さむら レポート、未完成なんすけど。

あべ 未完成の文章でも構わない。考えをまとめたいんだろう？

さむら 行きます。行って相談に乗ってもらいます。さすが先輩はなんでも知っていますね。どうしてそんなに詳しいんです？

あべ おれも行ったんだよ。

さむら ことし調子いいのはそのおかげですね。

学部生に今回初めて開放



学内でこんなやりとりがあったかどうか分からないが、「さわむら」君に似ていると思う学生は、いまが相談に乗ってもらえるチャンスであることは間違いない。

これまで「ライティング・ラボ」は大学院生や留学生のための窓口だった。今回初めて学部生に門戸を開いた。10月1日にスタートして12月21日まで「おためしフェア」として、期間中、中大生なら誰でも利用できる。

利用方法は「あべ」先輩が言うように各セッションの5分前に来室。予約は不要。見てもらいたい文章を2部用意する。

9割が有益だった



「ライティング・ラボ」がまとめた4～7月までのアンケート結果がある。アンケート回収数は47。相談しに行って「有益だった」(10人、21.3%)「とても有益だった」(34人、72.3%)。濃淡の差はあっても「自分に有益」と感じた人は全体の93%強にも達した。

有益と答えた人で、何が有益だったかとの問いには「どのように文章を書き始めればいいのか分かりました」「頭の中が整理できて、文章を書く自信ができました」「頭の中で考えてい

ることを話したら、自分がはっきりと理解していないことが分かり、またそれがどこであるかが分かった」「論文の進め方が見えて内容が絞れてきた。論文の今後の計画が明確になり始めました」

相談できる内容は次の通り。レポート、卒業論文、修士論文、博士論文、投稿論文、研究計画書、レジュメなどの日本語文章。まだ文章を書いていない段階でも相談できる。

期間は21日(金)まで。

開室時間は月曜、水曜、金曜の以下の時間帯。

第1S 11:40～12:20

第2S 13:20～14:00

第3S 14:10～14:50

第4S 15:00～15:40

第5S 15:50～16:30

第6S 16:40～17:20 ※Sはセッション

Writing Lab.

問い合わせはメールで。

writinglab@tamajs.chuo-u.ac.jp

40分のセッションを終えて、さわむら君が出てきた。「よかったです。頭の中もレポートも、すっきりしました」。きっとそう言うだろう。

これまでの相談内容



▽学部2年の留学生=授業のレポートの構想で。

「課題で出された参考文献の要約の仕方が分からず相談をした。

読んだところまでを紙に書き出して論点を整理できた」

▽学部3年の学生=大学院への願書で提出する研究計画書の書き方で。

「研究計画書に盛り込む要素について、参考資料を元にチューターに教えてもらった」

▽学部4年の学生=卒業論文の第一章の草稿で。

「論文のテーマについて話した。

チューターに説明することでテーマをさらに絞る必要があることに気付いた」

▽大学院博士課程2年の学生=投稿論文の草稿の相談で。

「序論と結論に整合性があるかを確認した」

▽大学院修士課程2年の留学生=修士論文のアウトラインで。

「序論に書く内容を話した。チューターに足りない要素を指摘してもらった」

▽大学院修士課程1年の学生=研究計画書の草稿で。

「ブレインストーミングをしてアイデアを文字化した」

※ブレインストーミングとは

米国で開発された集団的思考の技術。自由な雰囲気、他を批判せずにアイデアを出し合い、最終的に一定の課題によりよい解決を得ようとする方法(大辞泉=小学館から)